



大六小だより

平成31年 2月28日
 練馬区立大泉第六小学校
 校長 西野 國子
 3月号

教育目標 すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

感謝

6年生の教室の廊下に卒業に当たって、様々な「ありがとう」について書かれた詩が掲示してあります。

「家族」「友達」「先生」「主事さん」「ボランティアの方」「学校」「ランドセル」「給食」「生まれてきたこと」・・・に感謝が綴られています。感謝の気持ちをもつことは、幸せに気付くことにつながります。これから卒業するまでの間、下級生の手本となって行動でその思いを表してほしいと思います。

1年を振り返って、子供たちが伝え合うことの良さ・楽しさに気付き、実践できるようになってきていることが成果です。また、朝礼の時私はいつもマイクを使わないで話をしてきました。集中して話を聞ける子供たちが素晴らしいです。課題としては、大六スタンダードの徹底がまだまだ図れていないことです。教職員が共通実践できるように今まで以上に努力してまいります。是非、ご家庭の協力をお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご理解・ご協力いただきましたこと、心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

*近隣の方から、「『荷物を持ちましょうか』と言って、家まで一緒に運んでくれた大六小のお子さんがいて嬉しかったです。」とのお電話がありました。職員みんなが温かい気持ちになりました。

3月の行事予定

(特)は特別時程

月	火	水	木(特)	金
2/25	2/26	2/27	2/28	1
			感謝の集い(6年)	安全指導
4	5	6	7(特)	8
全校朝会 委員会 避難訓練			ひまわり110番 お礼訪問(6年)	
11	12	13	14(特)	15
全校朝会 (避難訓練予備日)				
18	19	20(特)	21	22
全校朝会		4時間授業(5年以外) 大掃除 給食最終日 卒業式準備(5年:5校時)	春分の日	修了式 卒業式予行
25	26	27		4/5
卒業式 (5・6年のみ)	春季休業日始			5年生前日準備登校 9:00~12:00頃

来年度の始業式・入学式は4/8(月)の予定です。

校内研究

研究主任 細田 和尊

学校で子供たちが過ごす多くの時間は「授業」です。その授業をどのように展開していくのか、どんな教材がいいのか、どうすれば子供たちが生き生きと学ぶことができるのか…などを研究していくのが「校内研究」です。今年度は、「主体的に伝え合う児童の育成～文学的文章の指導の工夫を通して～」というテーマを設定し、昨年度取り組んだ「伝え合う活動」の研究を継承しつつ国語科の研究を進めてきました。

今までの学習の中で、友だちと「自分の考えを伝える」ということはたくさんしてきました。しかし、自分の考えを伝えて終わりではなく、そこから「どうしてそう思ったの?」「この考えが分からないから教えて」など、友だちの考えについて理解していくことで、自分だけでは気付けなかった新しい気付きが生まれます。子供たちの考えたいと思うところを、授業の中でも取り入れられるように工夫したり、子供たち同士が顔を向かい合わせて話し合いができるようにしたりしながら、活発な意見交流が行われるよう授業を考えてきました。たくさんの意見を交流していく中で、子供たちが物語の新たな魅力やおもしろさに気付いていけるよう、今後も研究を重ねていきます。



図工室より

図工専科 吾妻 彰

大昔、人間は巧みに手を使い、知恵を働かせ生きていた。石、木、枝、草、葉、砂、土、粘土など様々な素材を手で触り、何かを作り、道具を使い生きてきた。手を使うことによっていろいろな体験をし、脳を活性化させ、生きるために狩猟をし、また畑作をして生き抜いてきたに違いない。時には洞窟の中に、また岩の壁に不思議な壁画を描き残したりもした。あるテレビ番組の特集を見ていろんなことを想像した。学校では毎日、子供たちがにぎやかに図工室に来る。絵の具で絵を描いたり、いろいろな素材で工作したり、楽しい時間のはず?である。実際に自分の手や体を使い、汗をかき、苦労しながら、いろいろな実体験をする貴重な時間、自分のおもいや、想像したこと、夢や感じたことを素直に、のびのびと表現できる大切な時間にしていきたい。

図書室より

学校図書館支援員 長谷川 規子

大六の生徒は概して、本が好きです。下学年ほど貸出件数は多く、2月の読書旬間のおすすめ図書もたちまち在庫ゼロになる盛況ぶりでした。

2020年始動の学習指導要領は、インプットした知識・情報を生徒がアウトプットする能力の強化を謳っています。その具体的課題の一つが、読解力の向上です。当然、図書室も機能充実が求められ、実際、調べ学習や副教材利用で図書室が利用される機会は増えています。そうした中、低学年で本に親しむ習慣が定着するのはよい兆しです。

各ご家庭におかれましても、読解力を下支えする何気ない日常会話を、語彙力やコミュニケーション力の強化につなげていただければ幸いです。

コンピュータリテラシー

視聴覚担当 徳富 謙一

来年度にはプログラミング教育が導入される予定です。これに合わせて、練馬区の小学校にも順次大型のモニターとタブレットが配備される計画です。コンピュータを活用した学習では、操作方法や情報を集めたり、まとめたりという活動の他に、情報モラルを学習することがとても大切になっています。インターネットのマナー、情報発信するときに気を付けること、著作権、SNSの使い方など、これからの社会では避けて通れません。大六小では、5年生を対象に情報モラル講習会を開き、ネットのマナーなどを学習しています。ご家庭におかれましては、家庭でのパソコンや携帯の使い方のルールを決めていくことが大切です。是非ご家族でお子さんと話し合ってください。